

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1493000234
法人名	株式会社エスケアメイト
事業所名	エスケアホーム大和
訪問調査日	2018年3月14日
評価確定日	2018年5月14日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 29 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493000234	事業の開始年月日	平成25年4月1日	
		指定年月日	平成25年4月1日	
法人名	株式会社エスケアメイト			
事業所名	エスケアホーム大和			
所在地	(242-0007) 神奈川県大和市中央林間六丁目8番6号			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成30年3月1日	評価結果 市町村受理日	平成30年5月17日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近隣の幼稚園との交流は開設当初から続けており、今年は中学校の職場体験の受け入れを行い、地域資源との交流を積極的に行っております。
 今後は一般の地域住民との交流を図れるよう介護を通じて、社会貢献に努めてまいります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成30年3月14日	評価機関 評価決定日	平成30年5月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は株式会社エスケアメイトの経営です。同法人は、医薬品卸業「スズケン」の子会社で、関東・中部地域で在宅複合事業所・介護付有料老人ホーム・グループホームの3つの福祉事業を地域のニーズに合わせ展開し、多様な福祉サービスを提供しています。ここ「エスケアホーム大和」は東急田園都市線・小田急江ノ島線「中央林間」駅から徒歩7分と便利な場所にあります。事業所は3階建てになっており、1階が小規模多機能型居宅介護、2階・3階がグループホームになっています。周囲は緑が残っており、静かで落ち着いた環境の住宅街にあります。すぐ隣の中央林間幼稚園は、窓から園児の遊ぶ様子を見ることもでき、定期的に園児が来訪し歌や遊戯などを披露するなど、活発に交流が行われています。床暖房が設置されているリビングでは、DKエルダーシステム（生活総合改善機器）を利用し、音楽・体操・映像による介護予防と健康増進に取り組んでおり、利用者が笑顔あふれる充実した日々の生活を送る支援を行っています。

●法人の企業理念「地域で暮らす全ての方々の尊厳を支え、いつまでも健康であふれる生活を送れるよう、医療と介護の連携を通じて社会の発展に貢献します。」を掲げています。利用者を「お客様」と呼び、常にお客様第一主義の行動を徹底し、利用者の立場に立ったサービス提供を心がけています。また、職員の教育と研修に注力し取り組み、社内研修を定期的に行い、職員が参加することでその資質向上を図っています。管理者が利用者家族全員と面談を行い、利用者家族の意見・要望を吸い上げ運営に反映させています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	エスケアホーム大和
ユニット名	さくら 2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当社の理念を唱和するとともに、事業所独自の理念は会議において職員と共有している。	法人の企業理念・経営方針・行動指針を記載した用紙を名札の中に入れて携行しています。コンプライアンスの遵守を重視し、常にお客様第一主義の考えの中「お客様に楽しんでもらう」「家と思い今までと変わらない暮らし」「職員の笑顔」を目標に、利用者へのサービス向上に努めています。		今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お祭りなどの地域の行事に参加しています。事業所の納涼祭は自治会の回覧板に載せお誘いをしています。また、隣の中央林間幼稚園の園児が2ヶ月に1～2回程散歩の途中に訪問してくれたり中学校の職業体験の受け入れを行っています。	内山自治会に加入し、夏祭りなど地域の行事に参加しています。恒例になっている事業所の納涼祭には利用者家族に加え、地域の住民や幼稚園児と保護者が参加するなど、地域の一員として交流しています。中学校から、生徒の職業体験の受け入れの他、隣の中央林間幼稚園児の来訪も毎月あります。		今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在実施できていない状態です。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度定期的実施しており、サービス等に対して意見を頂き、サービス向上に努めています。	運営推進会議は、地域包括支援センター職員・市職員・自治会長・利用者家族・管理者などの出席により、2ヶ月に1回、併設している小規模多機能施設と一緒に開催しています。利用者の状況・事故報告・今後の予定などをスライドで分かりやすく説明し、提案された意見は、運営・サービスの参考にしています。		今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には年6回の会議に市役所若しくは、担当包括支援センター所長が出席して頂いており、比較的良好な関係は築けている。	運営推進会議に市職員にも出席していただいているので、事業所の現状を理解していただいています。地域を対象に、地域包括支援センターとの連携で、認知症の相談や説明を行う介護相談所を開催しています。また、大和市グループホーム連絡会にも積極的に参加して、他施設の職員と情報交換を行っています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。	法人に「身体拘束・虐待防止委員会」が設置されており、年1回以上「身体拘束に関する研修」に参加し、身体拘束しないケアに取り組んでいます。身体拘束防止のマニュアルも完備され、ボーダーラインについては日頃の会議の中でも話し合っています。玄関・各ユニットの出入り口は日中は自由に出入り出来るようにしています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に1回以上、高齢者虐待に関する内部研修を実施し定義をはじめ身体拘束についても理解を深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性についての理解は乏しい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	全文を読み合わせて説明している為、理解、納得は得られていると認識している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが、そちらに記入することなく、直接職員に意見して下さっている。	入居時に、サービスに対する相談・苦情・要望などの窓口と体制について説明し、玄関にも意見箱を設置しています。家族からの意見や要望は、面会来訪時や家族参加の行事などの際にお聞きしています。管理者が利用者家族全員と面談を行っており、個別に家族からの意見や要望を聞ける体制になっています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議、各ユニット会議において、運営に関して職員から意見を聞く機会を設けている。	毎月の各ユニット会議や全体会議で話し合い、運営に関する情報の共有化を図っています。毎月開催の法人内グループホーム管理者会議には、社長・本部職員が出席しており、現場職員から運営に関する意見や提案を聞く機会が設けられています。年2回の職員との個人面談などでも意見を聞き、業務に反映させます。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働組合発足後、給料面、労働時間について会社全体で取り組んでおります。また、事業所内で解決できる環境整備については努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修及び事業者単位で内部研修を定期的実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	併設事業所はもちろん、市内の連絡会にも参加し、同業他社とも交流や情報交換に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談から情報収集し、職員にも事前に情報提供することで、入居当初から少しでも不安なく過ごして頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時、事前面接時、契約時等の際に情報収集し、少しでも不安なく入居して頂けるよう努めている。29年度より、中間面談（1年～2年を目処）を行い、よりご本人の状況、ご家族様に安心して頂くよう面談を行っております。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自事業所のサービスに留まらず、アセスメントからお客様にとってベストな環境及びサービスを見極めるよう支援している。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	主体はお客様にあるということを念頭に支援するよう努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	主体はお客様にあるということを念頭に、ご家族の意向も踏まえながら支援するよう努めている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お客様があまり知人に会いたい等言う方がおらず、ご家族との関係継続が中心となっています。	友人や知人の面会については家族に了解を取りながら、積極的に支援しています。家族は毎週来られる方がいるなど、平均で2ヶ月に1～2回の来訪があります。中には、家族の協力で自宅に帰ったり、外食やお墓参りに行かれている方や、年末年始に外泊している方もいます。電話の取次ぎや手紙送付の手伝いなどの支援も行っています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関係構築がスムーズなものとなるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	具体的な事例はないが、契約終了後であっても必要な相談、支援に努める環境はある。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中から出来ること、出来ないことを知ると同時に発した言葉などは特記事項として記録にして、要望を漏らさないよう努めている。	入居時に、本人と家族からこれまでの生活歴や思い、暮らし方の希望をアセスメント表で提供してもらっています。その後は、日々の暮らしの中で意思表示できる方からは直接希望を聞き、困難な方は、行動・表情・仕草から、特記事項として介護日誌に記録し、利用者の思いや意向を本人本位に検討しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前アセスメントに限らず、入居後の日々の関わりの中から生活歴を掘り下げるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりから状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当の配置はせず、全員で情報を共有し計画作成担当者が介護計画を作成しています。その中で正確なモニタリングの実施は今後の課題。	入居時は暫定の介護計画で1カ月程度様子を見ています。毎月のカンファレンスで職員全員が利用者全員の日々の様子・状態の変化を介護記録や意見交換を行い、ケア方法の検討や課題を抽出して、計画作成担当者が作成しています。基本的には6ヶ月に1回、介護計画の見直しを行っていますが、状態の変化が生じた場合は、その都度見直しを行っています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別計画、介護記録の連動を思案中。30年度内に実施予定。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自事業所内でサービスを多機能化させていくことは時間がかかるが、併設事業所等の関係機関との連携を図るよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣の幼稚園や近隣中学校との関係は構築出来ているので、近隣の構築が今後の課題。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	お客様及びご家族が主治医と良い関係が構築できるよう支援に努めている。	主治医の選択については、入居時にかかりつけ医の有無を確認し、本人や家族の希望を最優先にしています。協力医療機関の中央林間東クリニックから月2回の訪問診療がある他、週1回の歯科医・月1回の皮膚科の訪問もあります。看護師は職員として配属されており、毎日巡回して利用者の健康管理が行われています。医療支援は24時間体制となっており家族の安心に繋がっています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	良好な関係を築けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様やご家族の意向を踏まえて病院のMSWとも相談し、早期退院等の支援に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に指針に同意を頂くとともに、該当するような状況に至った際は、主治医も含めて三者で協議、同意の上で行うように努めている。	入居時に重度化や終末期の方針を説明しています。事業所ではターミナルケアまで行う方針としていますが、重度化した際には事業所が「出来る事・出来ない事」を説明しています。主治医の判断で重度化してきたと認められた場合は、主治医、家族、事業所による話し合いの場を設け、種々様々な選択肢を話し、家族の意向に沿った支援を行っています。事業所では看取りの実績もあり、看取りのマニュアルも整備されています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡ルートは掲示している、応急手当や初期対応は定期的実践形式で行っていく。(実践形式年間3回以上・AED講習2回以上)		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の総合防災訓練を実施しているが、全職員が実践に参加出来る様に訓練の回数を増やしていく。	年2回総合防災訓練を実施し、1回は消防署の立ち合いで指導を受け訓練しています。今後は年3~4回の訓練を検討しています。防災マニュアルも整備し、心肺蘇生・水消火器・AEDなどの訓練の他、防災への取り組みと救急法の職員研修も行っています。備蓄として、3日分の水・食料などがあります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様を念頭に人格の尊重、誇りやプライバシーを損ねない会話、態度に留意するよう日頃から職員に周知させています。	職員は入社時、接遇研修を受けています。また、年1回、プライバシーの確保や言葉の使い方などの内部研修も受けています。名前の呼び方は「名字（姓）」にさん付けを基本にしており、利用者の自尊心に配慮し礼儀正しい姿勢で接しています。入浴・排泄介助時などでもプライバシーに配慮した支援をしています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限りお客様に選択して頂くような環境作りに努めている。	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしさを大切にした暮らしを支援するということを職員に周知している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみはもちろんのこと、装いに意識が向くような環境作りに努めている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現状、盛り付けのみ関わりを持っている。また、イベントはお客様のリクエストに応じ、調理しています。	食材とメニューは、食材提供会社を活用しています。メニューは1ヶ月単位で、レシピ付きの食材は味にバラツキがなく、調理の苦手な職員でも安心して調理ができるようになってきました。また、毎月行事食も取り入れています。利用者は、食事の準備や片付けなど、出来る事は職員と一緒にこなしてもらっています。今後、利用者の希望を聞きながら、手作りメニューの日を作るなどの工夫をする予定にしています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録により管理、把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科衛生士の方に協力を頂き、定期的な講習を実施し、お客様の口腔ケアを職員がより理解できるようにしていきたい。一人一人のケアを大切に行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ミーティング時に、1人1人を協議し、出来るだけ自力で排泄して頂けるように統一を図って支援している。	排泄状況を記録した排泄チェック表で、日中・夜間の利用者個々の排泄パターンを把握し、職員間で情報を共有しています。トイレでの自立排泄を目標とし、自立している方は見守りで対応し、それ以外の方は、定時の声掛けと利用者の様子を見た誘導で支援しています。便秘対応は、運動を重視し、水分摂取や乳製品などで改善を図っています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動、水分、食品（乳製品）に工夫をしていき、薬に頼らない排便コントロールを目指している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	1階の事業所の小規模には寝て入れる機械浴、2階に椅子式の機械浴、3階は一般の個浴と3種の浴槽があり、必要に応じて使える体制になっています。見守り程度で入れるお客様は2~3名程度で他は介助しています。	入浴は週2回を基本とし、午前・午後問わず利用者個々の要望に応じて入浴していただけるように支援しています。1階の小規模には機械浴、2階に椅子式の機械浴があり、必要に応じて使える体制になっており、浴槽は2方向から介助が可能になっています。また、季節に応じたゆず湯・菖蒲湯なども行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	実施できている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医とも相談しながら、お客様にとって必要な薬剤が必要な量の処方になるよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人1人の出来る事、楽しみを抽出し実行していきたい。まだ不足している所もあるので、今後の課題である。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常の散歩、買い物で外に出る機会を設け、今まで実行できていなかった、月1回以上は、外出レクリエーションを実施していきたい。	散歩は午前中を中心に、事業所周辺や近くの公園のコースに、天候や利用者の体調を考慮して出かけています。桜の花見や公園の新緑を見るなど季節に応じた外出、家族の協力を得て外食などに出かけている方もいます。今後、定期的にドライブなどの外出レクリエーションを計画し、気分転換を図るため戸外に出かける支援をして行く予定としています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己による現金管理は控えて頂いている。買い物に行く際は事業所側で立て替えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境には留意するよう努めている。	一角に和室のあるリビングは、ゆったりとくつろげる空間で、床暖房が完備されており冬場は暖かく過ごせるようになっています。共有空間には必要なもの以外は貼らずに落ち着いた雰囲気にし、季節によって加湿器や空気清浄機を使い、環境整備に配慮しています。キッチンには法人の栄養士がチェックし、毎朝の掃除と必要に応じての掃除で清潔を保ち、快適な生活ができるよう支援しています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間で1人になれる場所は確保していないが、他お客様同士が思い思いに過ごせる環境に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れたものを持ち込んで頂くよう伝え、可能な限り生活空間であることを意識した環境作りに努めています。	各居室には、エアコン・クローゼット・防火カーテンが完備されています。ドアは上吊り式で、ベッドでなく布団の利用者もいます。入居時の生活環境の変化から入居者が不安や混乱を招くことのないように、使い慣れた家具や調度品を持ち込んでいただくように伝えています。鏡台・ソファ・テレビなどが置かれ、居心地よく過ごせる空間づくりがされています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来ること、出来ないこと、わかること、わからないことを会議で共有しながら支援していくように努めている。		

目 標 達 成 計 画

事業所

エスケアホーム大和

作成日

平成30年3月14日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1016	遠方のご家族様も含め情報の共有がされていない。	些細なことでもご家族様、お客様の声を拾いサービスや、相談できる対応を心がけをしていきたい。	ご家族の個人面談を含めて随時行う。面会時にご本人のご様子を伝える。	平成30年2月 ～平成31年3月31日
2	36	慣れ合いの言葉かけをしている時が見受けられる。	常にお客様を忘れないように接していく。	職員の個人面談、ミーティング、日常での会話・発言を気を付けて行くこと。安心した声掛けを行っていく。	平成30年2月 ～平成31年3月31日
3	18	閉鎖的な生活になっていた。	日常的に散歩、買い物（歩行練習・気分転換）、車等を利用し、四季を感じて頂けるようにしていく。	日常に落とし込み、継続していく。通常の企画以外にも、外に出る機会を増やしていく。	平成30年2月 ～平成31年3月31日
4	15	決まった食事の提供になっていた。	お客様からのご要望・嗜好に合わせた対応をしていく。少数での外食をしていく。	定期的に、出前、外食を取り入れ、楽しんで頂く。	平成30年2月 ～平成31年3月31日

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	エスケアホーム大和
ユニット名	なでしこ 3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当社の理念を唱和するとともに、事業所独自の理念は会議において職員と共有している。			
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お祭りなどの地域の行事に参加しています。事業所の納涼祭は自治会の回覧板に載せお誘いをしています。また、隣の中央林間幼稚園の園児が2ヶ月に1～2回程散歩の途中に訪問してくれたり中学校の職業体験の受け入れを行っています。			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在実施できていない状態です。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度定期的実施しており、サービス等に対して意見を頂き、サービス向上に努めています。			
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には年6回の会議に市役所若しくは、担当包括支援センター所長が出席して頂いており、比較的良好な関係は築けている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に1回以上、高齢者虐待に関する内部研修を実施し定義をはじめ身体拘束についても理解を深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性についての理解は乏しい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	全文を読み合わせて説明している為、理解、納得は得られていると認識している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが、そちらに記入することなく、直接職員に意見して下さっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議、各エント会議において、運営に関して職員から意見を聞く機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働組合発足後、給料面、労働時間について会社全体で取り組んでおります。また、事業所内で解決できる環境整備については努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修及び事業者単位で内部研修を定期的実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	併設事業所はもちろん、市内の連絡会にも参加し、同業他社とも交流や情報交換に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談から情報収集し、職員にも事前に情報提供することで、入居当初から少しでも不安なく過ごして頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時、事前面接時、契約時等の際に情報収集し、少しでも不安なく入居して頂けるよう努めている。29年度より、中間面談（1年～2年を目処）を行い、よりご本人の状況、ご家族様に安心して頂くよう面談を行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自事業所のサービスに留まらず、アセスメントからお客様にとってベストな環境及びサービスを見極めるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	主体はお客様にあるということを念頭に支援するよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	主体はお客様にあるということを念頭に、ご家族の意向も踏まえながら支援するよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お客様があまり知人に会いたい等言う方がおらず、ご家族との関係継続が中心となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関係構築がスムーズなものとなるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	具体的な事例はないが、契約終了後であっても必要な相談、支援に努める環境はある。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中から出来ること、出来ないことを知ると同時に発した言葉などは特記事項として記録にして、要望を漏らさないよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前アセスメントに限らず、入居後の日々の関わりの中から生活歴を掘り下げるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりから状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当の配置はせず、全員で情報を共有し計画作成担当者が介護計画を作成しています。その中で正確なモニタリングの実施は今後の課題。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別計画、介護記録の連動を思案中。30年度内に実施予定。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自事業所内でサービスを多機能化させていくことは時間がかかるが、併設事業所等の関係機関との連携を図るよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣の幼稚園や近隣中学校との関係は構築出来ているので、近隣の構築が今後の課題。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	お客様及びご家族が主治医と良い関係が構築できるよう支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	良好な関係を築けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様やご家族の意向を踏まえて病院のMSWとも相談し、早期退院等の支援に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に指針に同意を頂くとともに、該当するような状況に至った際は、主治医も含めて三者で協議、同意の上で行うように努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡ルートは掲示している、応急手当や初期対応は定期的実践形式で行っていく。(実践形式年間3回以上・AED講習2回以上)		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の総合防災訓練を実施しているが、全職員が実践に参加出来る様に訓練の回数を増やしていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様を念頭に人格の尊重、誇りやプライバシーを損ねない会話、態度に留意するよう日頃から職員に周知させています。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限りお客様に選択して頂くような環境作りに努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしさを大切にした暮らしを支援するということを職員に周知している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみはもちろんのこと、装いに意識が向くような環境作りに努めている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現状、盛り付けのみ関わりを持っている。また、休日はお客様のリクエストに応じ、調理しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録により管理、把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科衛生士の方に協力を頂き、定期的な講習を実施し、お客様の口腔ケアを職員がより理解できるようにしていきたい。一人一人のケアを大切に行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ミーティング時に、1人1人を協議し、出来るだけ自力で排泄して頂けるように統一を図って支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動、水分、食品（乳製品）に工夫をしていき、薬に頼らない排便コントロールを目指している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	1階の事業所の小規模には寝て入れる機械浴、2階に椅子式の機械浴、3階は一般の個浴と3種の浴槽があり、必要に応じて使える体制になっています。見守り程度で入れるお客様は2~3名程で他は介助しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	実施できている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医とも相談しながら、お客様にとって必要な薬剤を必要な量の処方になるよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人1人の出来る事、楽しみを抽出し実行していきたい。まだ不足している所もあるので、今後の課題である。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常の散歩、買い物で外に出る機会を設け、今まで実行できていなかった、月1回以上は、外出レクリエーションを実施していきたい。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己による現金管理は控えて頂いている。買い物に行く際は事業所側で立て替えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境には留意するよう努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間で1人になれる場所は確保していないが、他お客様同士が思い思いに過ごせる環境に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れたものを持ち込んで頂くよう伝え、可能な限り生活空間であることを意識した環境作りに努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来ること、出来ないこと、わかること、わからないことを会議で共有しながら支援していくように努めている。		

目標達成計画

事業所

エスケアホーム大和

作成日

平成30年3月14日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1016	遠方のご家族様も含め情報の共有がされていない。	些細なことでもご家族様、お客様の声を拾いサービスや、相談できる対応を心がけをしていきたい。	ご家族の個人面談を含めて随時行う。面会時にご本人のご様子を伝える。	平成30年2月～平成31年3月31日
2	36	慣れ合いの言葉かけをしている時が見受けられる。	常にお客様を忘れないように接していく。	職員の個人面談、ミーティング、日常での会話・発言を気を付けて行くこと。安心した声掛けを行っていく。	平成30年2月～平成31年3月31日
3	18	閉鎖的な生活になっていた。	日常的に散歩、買い物（歩行練習・気分転換）、車等を利用し、四季を感じて頂けるようにしていく。	日常に落とし込み、継続していく。通常の企画以外にも、外に出る機会を増やしていく。	平成30年2月～平成31年3月31日
4	15	決まった食事の提供になっていた。	お客様からのご要望・嗜好に合わせた対応をしていく。少数での外食をしていく。	定期的に、出前、外食を取り入れ、楽しんで頂く。	平成30年2月～平成31年3月31日

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。